

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成31年2月8日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4678900194
法人名	有限会社 ソフィア・インター・ナショナル
事業所名	グループホーム 美笠
所在地	鹿児島県奄美市笠利町中金久113番地1 (電話) 0997-63-2200
自己評価作成日	平成30年12月28日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成31年1月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

美笠の理念として、
 ・「お一人、おひとりの思いを大切にし、全ての事を一緒に考え共に生活していきます。」とあり、職員への意識付けをしている。
 ・集落行事への参加を通してグループホームの理解を増やし、利用者様へのケアに努める。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・当事業所は関連医療機関の敷地内にあり、受診や医療連携の訪問看護を週1回受けており、医療機関との連携が整っている。
 ・終末期、看取りケアの受入れの為の研修、勉強会を行い看取りケアの受入れに取り組んでいる。
 ・食事を楽しむ支援では月1回、ドライブをかねて外食を楽しむ支援を行っている。食事支援でも全量摂取に取り組み、拒否する利用者には声掛けや介助者を交代するなど、職員の連携プレーができています。
 ・排泄の自立支援においては日中は必ず綿パンツを使用している。退院後のオムツ使用から、見守り誘導で、綿パンツ使用に改善するなど、排泄の自立に向けた支援ができています。
 ・職員も意欲的に意見やアイデアを出し合っており、業務の内容を見直すことで、見守り支援が十分できるようになり業務に反映できている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>利用者様の思いを大切に慣れ親しんだ地域行事への参加を行っている。</p>	<p>玄関入口に事業所の理念を掲げ、職員は理念を確認し業務に活かしている。八月踊りや浜おれ・運動会の見物・駅伝の応援など、地域の行事に参加するなど、理念を共有し実践に繋げている。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>地域行事や中学生の職場体験、又幼稚園との交流を行っている。</p>	<p>浜おれや地域の運動会・駅伝大会等の応援に出かけるなど、利用者が地域住民との交流を図れるよう支援している。小・中学生・養護学校生徒の職場実習の依頼を受け入れるなど、利用者との交流の場を多く提供している。敬老会の時にも地域住民に事業所へ来てもらい交流している。地域住民から野菜やお土産の差し入れ等もある。</p>	
3		<p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。</p>	<p>行事への参加によりグループホームへの理解に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議の内容、反省点をミーティングに取り組み検討を行っている。</p>	<p>運営推進会議を2ヶ月に1回実施している。会の中で外部評価調査結果を報告している。区長からは地域行事のお知らせや地域包括支援センターからはインフルエンザについて・服薬関連のアドバイスがある。行政主催の研修会の案内もあり参加している。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>社会福祉協議会、包括支援センターの職員、集落会長との連携を図っている。</p>	<p>運営推進会議に町職員に参加してもらったり、役場に足を運んで相談したり入居者の事で町担当者から相談を受けたりする等の協力関係を築いている。行政主催の研修会にも参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>職員への理解の場を作り、勉強会を行っている。</p>	<p>身体拘束に関するマニュアルがあり、月1回のミーティングで話し合ったり、年間計画で3ヶ月に1回、施設内で勉強会を実施している。玄関の施錠は夜間のみしている。外出を好む利用者への対応として見守りながら会話したり、事業所近辺を一緒に散歩したりしている。家族了解の下、ベットからの転倒予防で床に直接寝具を敷いたり、布団や手すりに鈴を付ける工夫を行っている。車イスやシルバーカーの利用者には特に注意して支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	職員への理解の場を作り、勉強会を行っている。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	職員への理解の場を作り、勉強会を行っている。		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	施設の理念、取組み、利用料、金銭管理等について説明、同意を得ている。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	担当者会議、家族会等を踏まえ、意見、要望等ミーティングにて検討を行っている。	本人からは折に触れ思いを聞いている。家族の面会時や事業所主催の敬老会・誕生会時に要望などを話せる雰囲気作りをしている。季節の変わり目に衣類の交換で訪問する家族も多い。玄関近くの畑を活用して花や野菜を植える意見や提案が出ている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員ミーティング等、個々の話し合い等により、機会を設けている。</p>	<p>月1回定期的にミーティングを行っており、利用者の支援についてや施設としての今後の取り組みなどを話し合っている。職員から利用者と一緒に外出や買い物に出掛ける支援の提案や戸外に出る機会を増やすなどの意見、業務の流れの改善や業務内容についての意見も出ている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>給与水準は、定期的に昇級している。また、非常勤の時給についても調整を行い最低賃金よりあげている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>協力病院の主催する、研修等への参加、施設内勉強会、その他の研修、勉強会への参加を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>関連事業所等での会議等へ参加を行い他事業所との意見交換等を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所前に事前調査を行い、趣味・趣向・性格・生立ち等を伺い、安心して生活出来る様になっている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>御家族様の考えや、思い、不安を傾聴し施設に関する重要事項説明を行い、信頼関係の構築に努めています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>包括支援センター、病院等を介しその他、関連事業所との連携を図っている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>生活の中での動き、一つ一つがIADLの低下に繋がるという事を理解し自分で出来る事は自ら行って行ける様、意識を持って行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	介護内容については、変更時に電話連絡、書面にて確認、了承を行い、面会時に再度確認を行い同意を得ている。又、毎月の家族便り等での現状報告を行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	出掛ける回数は減ったが、毎月外出の機会を設けたり地域行事への参加を行う事で、関係が途切れない様に努めている。	家族や友人が頻繁に面会に来る利用者や遠方の家族が久しぶりに訪問や馴染みの美容師に事業所に来てもらったり、医療機関受診の帰りに馴染みの大型店舗での買物をしている。家族と一緒に墓参りや店舗に親族と一緒に出かけたり、家族との電話を取りついでいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の情報を共有し理解に努め、利用者様が孤立しない様に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後、関係性を維持し手行きたいが、フォロー出来ているとは言い難い状況です。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日頃の言動から、ご本人様の「思い」をくみ取り、職員間で周知出来るように取り組んでいる。	散歩中に会話の中から利用者の思いを把握したり、家族の面会時に思いを聞いている。利用者から家族や友人への電話の依頼を受けたり、職員が利用者との関わりの中で気づいた事を申し送りに記録している。意思疎通が難しい場合は家族に意向を聞き利用者の思いに添うように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前、又は入所後にも本人、ご家族様、ケアマネージャー、サービス事業所からも情報を得られる様に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の生活動作や趣味、趣向を把握し生活に取り入れている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	御家族との面談や職員ミーティングにて定期的にモニタリングを行うと共に、状態の変化等があった場合についても、その都度実施し計画作成を行っている。	毎月1回のミーティングの時にモニタリングを行っている。カンファレンスも毎月1回行っており職員は利用者の担当を決めている。介護計画は担当主治医や訪問看護師の意見も聞き作成している。状況によってその都度支援計画は変更している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者様、個別で介護記録を作成し短期記録を最初に持つてくる事で職員が目標を理解、把握し易いようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人様の状況や、ご家族様の要望等に応じ、外出行事への参加や病院受診を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の区長さん等からの情報により地域の行事へ参加することで、ご利用者様やグループホームを理解して貰えるようにしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人様や、ご家族様の要望を取り入れ受診を行っている。	かかりつけ医での受診を支援している。付き添いは殆ど家族が対応しており事業所が対応する時もある。訪問看護も週1回利用しており医療との連携が整っている。月1回のホーム便りで受診結果の報告をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>29年度より笠利病院との医療連携を締結しており週に一回、訪問看護を行い、利用者様の状況に応じて対応している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院期間中、病状の経過、ADL、QOL、BPSD等について情報提供を行い、退院時には入院中の状態、留意事項の確認などを行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>終末期へ向けての支援については、協力病院との医療連携を行いご家族様、利用者、職員への周知を図り、研修、勉強会を行っている。</p>	<p>事業所として終末期ケアを視野に入れて入居契約の時に話し合っている。実際に看取りになった時に看取り指針がある。看取り支援は家族の協力も必要となる事も話している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時等の対応について、フローチャートを作成すると共に職員への対応の周知と協力病院との連携を図れるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年、2回の火災や災害を想定した避難訓練を行っている。</p>	<p>年2回消防署立会いのもと日中の火災や夜間災害を想定した避難訓練を実施している。避難場所は事業所横の医療機関となっており、職員は避難経路も把握している。備蓄として缶詰やおにぎりを冷凍し、水やリースでの発電機などを用意している。オムツや毛布類は医療機関が用意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者様の仕草や表情に気を配り、個々の尊厳を尊重する対応を指導している。	職員会議でプライバシーの確保についての勉強会を行っている。トイレの誘導、失禁時の声掛けなど十分気を付けプライバシーを損ねないような対応をしている。利用者のタイミングを見ながら声掛ける事などを職員同志でも話し合っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者様の思いを汲み取り理解し対応出来る様、個々それぞれ対応している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様の、生活サイクルは施設側で決定しているが個々に合わせ無理がない様対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ご本人様の意向を確認し自己決定出来る様心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の下拵えを手伝って頂き、メニューを考え、職員も同じテーブルで頂いている。	食事前に野菜の皮むきやモヤシのひげ取り、テーブルやお盆拭き、おしぼりたたみなどを職員と一緒にやっている。月1回は外食や隣町の大型店舗での買い物の後に食事する支援も行っており、利用者も楽しみにしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ご利用者様の状態を確認し、栄養のバランスを考慮し、水分の確保にも努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に歯磨き（入れ歯等）やうがいを行い、就寝時には入れ歯を外して貰い預かり洗浄をおこなっている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の記録を行い、個々の排泄サイクルを把握し日中はトイレでの排泄がおこなえている。	個々の排泄記録からトイレでの排泄誘導を行っている。日中は綿パンツやリハビリパンツを使用しておりトイレでの排泄を行っている。室内にポータブルトイレを置かない事で利用者のプライドを守る支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	主食に押し麦を加えたり、便秘が続く時は訪問看護師に確認を行なう等の取り組みをしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	施設の方で入浴のサイクルを決定はしているがご利用様の拒否などがある場合は日にちの変更を行なう等、御利用者の要望を聴けるように取り組んでいます。	週に2回午後から入浴が楽しめるよう支援している。入浴拒否がある時は日程を変更したり時間を置いて声掛けする等の工夫を行っている。夏場はシャワー浴も支援している。好みの石鹸や入浴剤で楽しんでいる。一番風呂に入って喜んでいる利用者もいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご利用者さまが安心して入眠が出来る様に、環境整備や本人の不安感を取り除くケアを行う様に取り組んでいます。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の管理表を全職員が把握出来るように配慮している。又、ご利用者の状態に応じ連携医療機関に確認し対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活の中の洗濯、片付け、準備等をご本人様の「役割り」として無理のない程度で行って貰うようにしています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	個別での外出時の付添いや、全員での外出を月に一度は出来、気分転換に繋げたりご家族様の協力を得て地域行事への参加が出来るように取り組んでいる。	事業所での月1回の外出とは別に居室担当の職員と一緒に半日の時間外出が楽しめるよう様支援している。浜おれの行事を楽しんだり、隣接の医療機関の売店での買物や色々の行事に参加している。家族と出掛けて外食を楽しむこともある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人様の意向を伺い、御家族様の了承を取り預かっております。買い物等の希望がある場合は職員が代行するか、外出行事の際に利用しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご本人様の意向、希望に応じ対応しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有の空間には、ご利用者様の写真など貼って温かみのある空間づくりに気を付けています。又、食堂、ベランダから外の景色を眺め季節を感じられる様にしています。</p>	<p>共用の空間は職員の毎日の掃除が行き届き清潔である。台所からは調理の匂いが漂っている。各行事の写真や季節の花が飾られ、島の風習の、なり餅が職員と一緒に作って飾ってある。廊下にはソファがあり、外の風景が眺められ、居心地よく過ごせる工夫がされている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>食堂、廊下、ベランダ、玄関先にソファを設置する等工夫し個々にお好きな場所で過ごせる様に配慮しています。</p>			
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居前にご家族様へ説明し、ご本人様がこれまで使用していた物や思い出のある物を利用して頂けるように取り組んでいます。</p>	<p>自宅から仏壇や位牌を持ち込んで毎朝、写真に手を合わせたり、自宅で使用していたカセットテープを聞き楽しんでいる。居室の壁を利用して家族の写真飾り楽しかった事などを思い出し、居心地よく暮らしている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ご利用者様の行動を理解し職員間の気付きを基に把握した対応が出来るように支援しています。</p>			

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者の
		<input checked="" type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input checked="" type="radio"/>	1 毎日ある
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまにある
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input checked="" type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	<input checked="" type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない